

こども・若者の居場所等 の拡充について

大阪市住吉区役所

大阪市住吉区の特徴

- ▶ 大和川を隔てて堺市と接する大阪市最南端の区
- ▶ Osaka Metro御堂筋線、JR阪和線、南海高野線など交通の利便性が高く住宅地として発展
- ▶ 人口は約15万人（市内で5番目）
- ▶ 15歳未満の人口は約1万6500人（10.8%）
市内でも年少人口が多い区（市内で6番目）
〈令和2年国勢調査〉
- ▶ 区内には14の市立小学校と8の市立中学校があり、
約9700人の児童生徒が在籍

住吉区のマスコットキャラクター



すみちゃんです



大阪市住吉区の取組

- ▶ 不登校やひきこもりの若者等の支援（子ども・若者育成支援事業）
- ▶ 中学生への学習支援
 - ・ 生活困窮世帯の中学生への学習支援（すみよし学びあいサポート）
 - ・ 学習塾等事業者との協定による学習支援（すみよし学習クラブ）
- ▶ 子ども食堂との連携協力
 - ・ 住吉区地域・子ども食堂連絡会とこどもや家庭への支援等を通じ連携協力

① こどもの居場所について

① こどもの居場所について

現在の取組

こどもの居場所とは

地域のこどもたちが、学校でも家庭でもない居場所を通して
地域の大人と関わることで、安心感やつながりが得られ、
社会性・自主性を身につけることができる、
食事や学習支援、体験活動を提供する場、見守りの場など



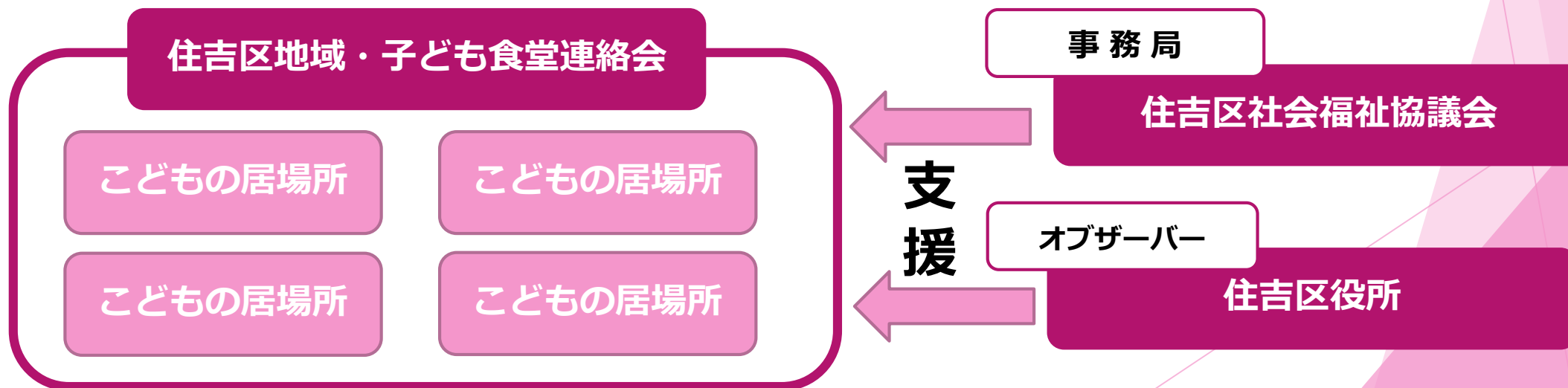
① こどもの居場所について

現在の取組

こどもの居場所の開設数

住吉区内：16か所（令和5年2月末時点）

様々な運営主体が子ども食堂や地域のつながりの場を開設



① こどもの居場所について

今後の取組予定

【令和5年度】

大阪市が実施する「子ども食堂新規開設助成事業」

子ども食堂が無い小学校区内で新たに子ども食堂を開設する場合に、
初期費用を助成

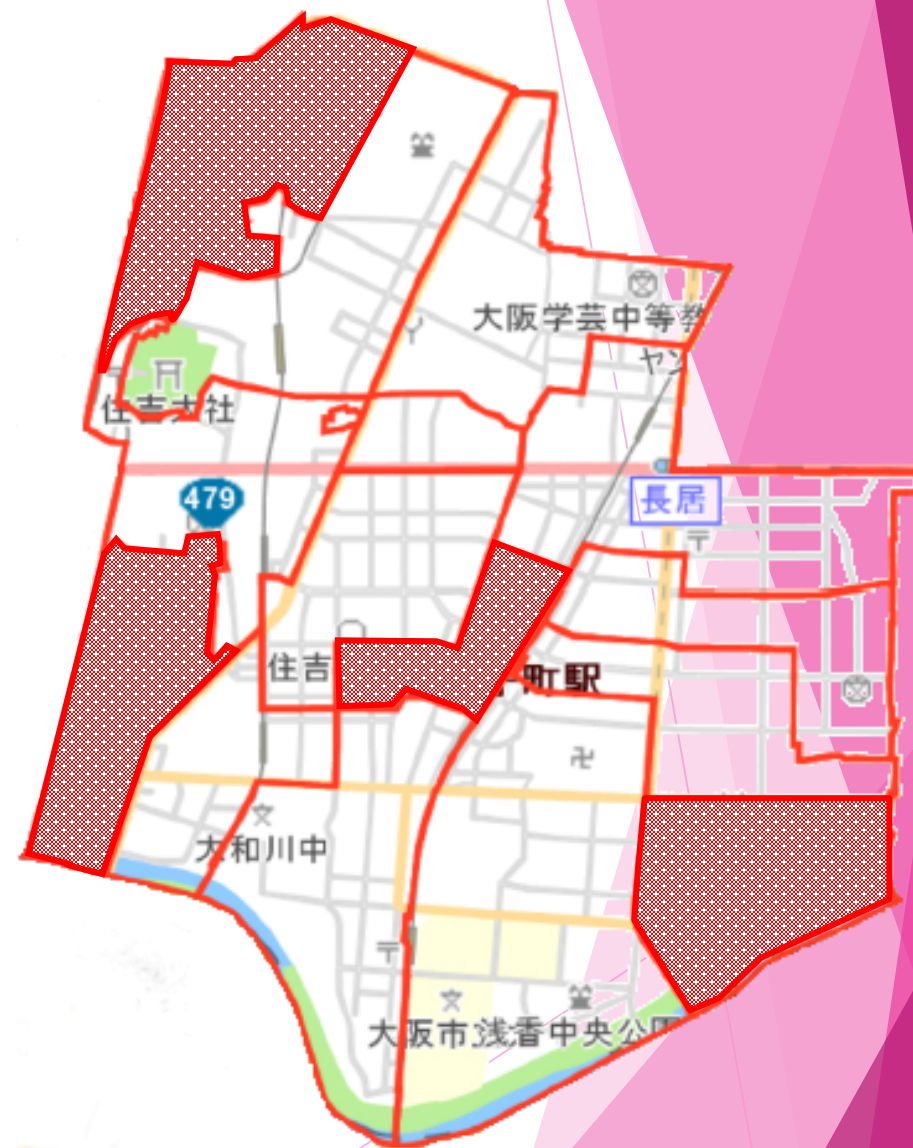


① こどもの居場所について

こどもの居場所の課題

① こどもの居場所の偏在

- ・ こどもの居場所が存在しない小学校区が
14校区中 4 校区存在



(マップナビおおさか 小学校区より)

① こどもの居場所について

こどもの居場所の課題

② 人材確保の課題

- ・ スタッフの高齢化
- ・ 子どもの将来のモデルとなるような、お兄さんお姉さんスタッフの確保
- ・ 勉強を教えたり、様々な体験を提供できる人材の確保
- ・ 公的あるいは民間団体助成金の申請手続きなど事務処理スタッフの確保
- ・ フードドライブで集まった食料品等を運搬するスタッフの確保

① こどもの居場所について

こどもの居場所の課題

③経済的課題

- ・ 子ども食堂の会場賃貸料、光熱水費、食材等の経費の確保

① こどもの居場所について

こどもの居場所の課題

④ その他の課題

- ・ 子ども食堂の会場（調理設備がある施設）を低料金で借りることが困難
- ・ フードドライブの実施などにより、食材を提供してくれる団体が少ない
- ・ 冷凍食品等の保管場所（大型冷蔵庫）がない

そのため、冷凍食品提供の提案がある場合は断っている

① こどもの居場所について

ご提案いただきたい内容



① こどもの居場所の偏在へのご提案

- ・ こどもの居場所が無い小学校区の解消など、
こどもの居場所運営主体の新規開拓のご提案

① こどもの居場所について

ご提案いただきたい内容



② 人材確保の課題へのご提案

- ・ 企業団体の職員や家族にボランティア参加の勧奨
（こどもの居場所での調理配膳等だけでなく、事務作業の得意な方や運搬の可能な方へも）
- ・ 大学や専門学校、芸術・スポーツ団体に学習支援や体験講座のスタッフとしてボランティア参加の勧奨

① こどもの居場所について

ご提案いただきたい内容



③ 経済的課題へのご提案

- ・ 寄附していただける個人・団体の開拓
- ・ クラウドファンディングの実施支援

① こどもの居場所について

ご提案いただきたい内容



④ その他の課題へのご提案

- ・ 調理設備がある施設を低料金で提供していただける個人・団体の開拓
- ・ フードドライブを実施する個人・団体の開拓
- ・ 大型冷蔵庫使用の協力をいただける企業の開拓

② 子ども・若者育成支援事業について

② 子ども・若者育成支援事業について

大阪市のひきこもりに関する現状

大阪市ひきこもりに関する実態調査

調査実施期間：令和2年12月24日（木）～令和3年1月18日（月）

調査対象：本市に居住する満15歳から64歳までの方から無作為に抽出した1万人

調査結果：

子ども・若者群（満15歳～満39歳）における「ひきこもり群」の推計：約1.7万人

成人群（満40歳～満64歳）における「ひきこもり群」の推計：約2.4万人

② 子ども・若者育成支援事業について

大阪市の不登校に関する現状

大阪市立小中学校における不登校数の割合（令和3年度）

- ・ 小学校1.47%（全国1.30%、大阪府1.46%）
- ・ 中学校7.59%（全国5.00%、大阪府5.35%）

大阪市は全国や大阪府と比較して高い状況にある。

② 子ども・若者育成支援事業について

現状を受けた課題認識

このような現状を放置すると、社会問題にもなっている孤独死や8050問題に将来的につながる可能性が高いことから、課題解決に向けた取組を行う必要がある。

② 子ども・若者育成支援事業について

住吉区の取組

住吉区子ども・若者育成支援事業（委託事業）

【事業目的】

不登校やひきこもり等で悩んでいる若者や就労に自信が持てない若者が、社会生活を円滑に営むことができるようにするために、子ども・若者育成支援地域協議会において、福祉や保健、教育、就労支援、医療などの関係機関が連携し、効果的かつ円滑な支援ができる体制を構築するとともに、相談事業や居場所づくり事業を通じて、対象者やその家族を支援する。

② 子ども・若者育成支援事業について

住吉区の取組

住吉区子ども・若者育成支援事業（委託事業）

【事業内容】

- ・ 当事者やその家族に対する相談事業（週2回）
- ・ 当事者の居場所事業（月1回）
- ・ 区民向けの啓発として、講座（年2回）やフォーラム（年1回）を開催

② 子ども・若者育成支援事業について

住吉区の取組

住吉区子ども・若者育成支援事業（委託事業）

【事業実績（令和3年度）】

相談件数：延べ327件

実対応件数57件	
20歳以下	: 38.6%
21歳以上30歳以下	: 24.5%
31歳以上40歳以下	: 31.6%
41歳以上	: 5.3%

居場所利用者：登録者3名

講座：2回

フォーラム：1回



② 子ども・若者育成支援事業について

住吉区の取組

住吉区子ども・若者育成支援事業（委託事業）

【本事業における課題】

- ①潜在する不登校、ひきこもりの若者やその家族について、
大阪市実施の他事業につながない限り把握のしようがない。
- ②相談事業等につながり継続的な支援を実施しても、
なかなか社会復帰にはつながらない。

② 子ども・若者育成支援事業について

住吉区の取組

住吉区子ども・若者育成支援事業（委託事業）

【課題に対する対応①（令和4年度～）】

- ・ 大阪市実施の他事業での支援機関と連携し、
本事業への事前登録を行うことにより、
切れ目なく継続した状況確認を実施

（現在3名）

② 子ども・若者育成支援事業について

住吉区の取組

住吉区子ども・若者育成支援事業（委託事業）

【課題に対する対応②（令和4年度～）】

- ・ 社会福祉施設（2か所）にご協力いただき、
比較的ゆるやかな就労支援を実施

（現在2名）

Aさん・・・令和4年4月より、施設の清掃業務に従事（週3日、3.5時間/日）

Bさん・・・令和4年5月より、施設の清掃業務に従事（週2日、3.5時間/日）

※いずれも賃金を施設より支払っている

② 子ども・若者育成支援事業について

ご提案いただきたい内容



- ① 不登校やひきこもりの若者と接点を持つ団体等（例えば、フリースクール等）の掘り起こしを行うためのご提案
- ② 支援した若者が社会復帰に向けたステップとして、ゆるやかに就労できる場を開拓するためのご提案

こども・若者の居場所等の拡充について 連携いただくことで

事業者とこども・若者の居場所等の橋渡しが行われる
ことにより、社会貢献活動に積極的に貢献することが
できます。

例えば、従業員が社会貢献活動を始めるきっかけづく
りなども期待できます。

皆さまからのご提案を
お待ちしております

